

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成28年3月3日(2016.3.3)

【公開番号】特開2014-136287(P2014-136287A)

【公開日】平成26年7月28日(2014.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-040

【出願番号】特願2013-6447(P2013-6447)

【国際特許分類】

B 24 B 9/14 (2006.01)

【F I】

B 24 B 9/14 G

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月14日(2016.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼鏡のフレームにレンズを嵌めるためのヤゲンまたは溝を前記レンズの周縁に形成する眼鏡レンズ加工装置であって、

前記フレームのフレーム形状データ、または、前記フレームの形状に合致するヤゲンまたは溝を有するデモレンズの形状データであるデモレンズ形状データに基づいて、前記レンズの周縁に形成するヤゲンまたは溝のデータを算出するデータ算出手段と、

前記データ算出手段によって算出された前記ヤゲンまたは溝のデータを補正することで、前記ヤゲンまたは溝の位置と、前記レンズの前面側のコバ位置との間の幅である前面側肩幅を目標値に近づける補正手段と

を備えたことを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項2】

前記補正手段は、前記データ算出手段によって算出された前記ヤゲンまたは溝のデータの変更量が閾値以下となる範囲内で、前記前面側肩幅の最大値を前記目標値に近づけることを特徴とする請求項1に記載の眼鏡レンズ加工装置。

【請求項3】

前記補正手段は、前記ヤゲンまたは溝のデータから分離される球面成分データ、円筒成分データ、および歪成分データのうち、球面成分データおよび円筒成分データの少なくとも一方を変更することで、前記ヤゲンまたは溝のデータを補正することを特徴とする請求項1または2に記載の眼鏡レンズ加工装置。

【請求項4】

眼鏡レンズ加工装置の動作を制御するデータを作成するための加工制御データ作成プログラムであって、

前記データを作成する作成装置のプロセッサによって実行されることで、

前記フレームのフレーム形状データ、または、前記フレームの形状に合致するヤゲンまたは溝を有するデモレンズの形状データであるデモレンズ形状データに基づいて、前記レンズの周縁に形成するヤゲンまたは溝のデータを算出するデータ算出手段と、

前記データ算出手段において算出された前記ヤゲンまたは溝のデータを補正することで、前記ヤゲンまたは溝の位置と、前記レンズの前面側のコバ位置との間の幅である前面側肩幅を目標値に近づける補正手段と

を前記作成装置に実行させることを特徴とする加工制御データ作成プログラム。